記者発表資料

令和３年５月２５日
東 北 地 方 整 備 局

５月２７日盛岡市で認定証授与式を開催

【令和２年度「手づくり郷土（ふるさと）賞」（国土交通大臣表彰）】

『盛岡市鉈屋町界隈～盛岡町家と暮らしと文化がいきづく街並みの保存活用～』

「手づくり郷土（ふるさと）賞」は、地域づくりに取組む活動団体等の優れた地域活動を表彰する制度で、昭和61年度の創設以降、令和２年度で35回目となる国土交通大臣表彰です。令和２年度応募分として、東北管内からは大賞部門で１件、一般部門で２件選定されています。

この度、岩手県盛岡市で歴史的街並みと文化を保存活用している『盛岡市鉈屋町界隈～盛岡町家と暮らしと文化がいきづく街並みの保存活用～』の認定証授与式を開催しますので、お知らせいたします。

《認定証授与式の開催概要》

受賞件名	**【一般部門】盛岡市鉈屋町界隈～盛岡町家と暮らしと文化がいきづく街並みの保存活用～**
受賞団体	・特定非営利活動法人　盛岡まち並み塾
認定証授与式	・日時：令和３年５月２７日（木）１５時００分～（３０分程度） ・場所：もりおか町家物語館　浜藤ホール （住所：岩手県盛岡市鉈屋町１０-８） ※認定証授与式詳細については別紙１，２参照

〇取材について
- 当日の受付は３０分前から行います。
- いわゆる３つの「密」を避けるため、間隔を確保する必要がありますので、担当者の指示に従ってください。
- 新型コロナウイルス感染防止のため、体調の悪い方は、出席を控えてください。
- 取材をされる方は、マスクの着用をお願いします。
- 密集回避のため、最低限の人数による取材をお願いします。

〇東北管内における令和２年度「手づくり郷土賞」選定案件

大賞部門
- 明治の遺産を活用した手づくり鉄道博物館～明治のレトロモダンを未来に継承～（秋田県小坂町）

一般部門
- 盛岡市鉈屋町界隈～盛岡町家と暮らしと文化がいきづく街並みの保存活用～（岩手県盛岡市）
- 河港のまち角間川ルネサンス～雄物川舟運の歴史文化を活かしたまちづくり～（秋田県大仙市）

※なお、「明治の遺産を活用した手づくり鉄道博物館～明治のレトロモダンを未来に継承～」の認定証授与式は、５月１０日に開催済です。

〈発表記者会〉岩手県政記者クラブ・宮城県政記者会・東北電力記者会・東北専門記者会

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　代表　０２２－２２５－２１７１
企画部　企画課　課長補佐　阿保（あほ）　和徳（かずのり）　（内線：３１５６）

別紙1

令和２年度　手づくり郷土（ふるさと）賞

認定証授与式　次第（案）

日時　令和３年５月２７日（木）15:00～（30分程度）
会場　もりおか町家物語館　浜藤ホール

１．開式

２．認定証授与
[東北地方整備局長]

３．主催者挨拶
[東北地方整備局長]

４．祝辞
[盛岡市長]

５．受賞者挨拶
[盛岡まち並み塾　理事長]

６．閉　式
記念写真撮影

認定証授与式会場（もりおか町家物語館）位置図

別紙2



認定証授与式会場　詳細図（住所：岩手県盛岡市鉈屋町10-8）



出典：地理院地図に建物名、
道路情報等を追記して掲載

参考

令和２年度　手づくり郷土賞　【一般部門】　受賞案件概要

案件名　盛岡市鉈屋町界隈
～盛岡町家と暮らしと文化がいきづく街並みの保存活用～（岩手県盛岡市）



▲盛岡町家旧暦の雛祭り



▲改修活用した明治期の盛岡町家

＜活動内容＞

城下町の風情と暮らしが息づく鉈屋町界隈では、H15年から歴史的な街並みと文化を資源とし、保存・継承・活用、地域活性化に繋げる活動を行っている。町家の改修推進のため、「街並み修景フォーラム」の開催、現地見学会、季節のイベントなどを住民と協働で実施。建物修景軒数は10年間で28軒、うち新規移転や開業が21軒と、賑わい創出に寄与している。H22年からはまち案内の拠点設置（年16,000名利用）や、「盛岡町家de手づくり市」を毎年開催し、R元年は出店70組、来場者15,000名と、若者の参加や賑わいが定着した。

＜活動主体＞

特定非営利活動法人　盛岡まち並み塾

＜対象となる社会資本＞

鉈屋町、大慈寺町の歴史的街並み
※管理者：盛岡市・盛岡市街並み保存活用推進協議会